

SUMA × SUNA

IN 須磨海水浴場

活動日時： A…7月25日(土)
B…7月26日(日)
C…8月1日(土)

活動プログラム：

午前	集合・挨拶	おはようございます！今日は年に一度の水プログラムの日！！場所は海水浴場！！存分に海を楽しもう！！えっ！海遊びじゃない？砂遊び！？
	砂遊び <前半>	今月は砂遊び「サンドアート」を行うよ。グループで一つの作品を作ってもらおうよ。そのために、設計図を描き、作る場所の担当を決め、時間を考えよう。適当ではなく、本格的な作品を仕上げよう。
	昼食	熱中しすぎてあっという間にお昼になったね。お弁当を食べながら、次の作品や工夫など話し合っているね。無理は禁物。食後はしっかりと休憩を取ってね。
午後	砂遊び <後半> 品評会	作品も2,3つ出来てきて、グループの雰囲気も十分感じられるよ。作った作品を他のグループに評価してもらおう。評価の高い作品、低い作品、何が違うのかな？最後はおもいっきり、海に飛び込んで汗や疲れを吹き飛ばそう！！
	振り返り まったね～	みんなでしっかりと話し合っただけで作品は評価が高かったね。みんなが作品に向き合っただけで、本気になれば必ず周りを見てくれていることがわかったね。これからの活動も「みんなで」やることを意識して、みんなで出来るためにどうすればいいかを考えながら活動を楽しんでいこう！！



<全体感想>

今月は例年と違い、水を重視した活動を行わず、敢えて「砂」を選びました。この理由は、「みんなで」活動に取り組んでもらうためです。目の前に海という最大の魅惑がある中、それに入らずひたすらサンドアートを行うことで、いかにグループ丸となって取り組むかを考えてもらいました。ただ、全く入れないわけではなく、グループのさじ加減で休憩や熱中症予防の意味を込めて入りました。その時ついでに海の楽しさに気持ちが負けてしまい、当初の目的を忘れ、グループがバラバラになっている光景も目にしました。その都度話し合い、これでいいのか？と自分たちに問いかけておられました。しっかりと話し合った上でのグループの動きは段違いで、作品も素晴らしいものが出来上がっていました。グループを動かす為に必要な想いを一人一人が持ち、その想いをミックスすることでより大きな力になることを感じてもらいました。目の前の安易な誘惑に負けずに、ご自身がなさないといけない事をしっかりと見据えて、活動に取り組んでもらうことをこれからの活動で盛り込んでいきます。「一人はみんなの為に」をまず感じていってもらいます。

(竹中 哲郎)